



エネファーム発電専用リモコン

品番
RC-F066M

取扱説明書

リモコン操作編



まずはじめに

ご使用前に

エネルギー

停電時発電継続運転

メニューからの運転・設定

こんなとき

困ったとき

ご参考

SHC804H①



この取扱説明書の見かた

このたびは当社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があれば東邦ガスにお問い合わせください。
- この取扱説明書は別冊の燃料電池ユニットの取扱説明書(保証書付)と併せて、いつでもご覧になれるところに保管してください。

エネファーム発電専用リモコンの操作を説明しています

- 燃料電池ユニットについては、別冊の燃料電池ユニットの取扱説明書で説明していますので、併せてお読みください。

逆潮流有の設定を選択された場合は、画面表示が異なります(P10)

- 逆潮流有の設定を選択された場合とされていない場合で、発電に関する表示が異なります。
この取扱説明書では、逆潮流有の設定を選択されていない場合の表示例で説明しています。
- この取扱説明書では、「逆潮流有の設定を選択された場合」を「逆潮流の場合」として説明しています。

この取扱説明書での機器の呼びかた

- 燃料電池ユニットを **発電ユニット**、燃料電池ユニットと給湯機器を合わせたシステムを **エネファーム** と呼びます。
- エネファーム発電専用リモコンを **発電リモコン** と呼びます。

絵表示の説明

》 **しくみ** リモコンや燃料電池ユニットのしくみ

★ **ヒント** 使いかたのヒント

！ **注意** ご注意ください

▶ **参照** 参照先 または 参照ページ

文中の(P○)の数字は参照ページを表します

説明中のリモコン表示画面は一例です

実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

まずはじめに

この取扱説明書の見かた	2
もくじ	3
必ずお守りください(安全上の注意)	4

ご使用前に

各部のなまえとはたらき(リモコン)	6
表示画面(タッチパネル)の操作の基本	7
トップ画面	8
トップ画面(逆潮流の場合)	10
メニュー画面	12
エネルギー画面	12
リモコンで日時をあわせる	13

エネルギー

エネルギーで使用状況を見る	14
【発電レポート】で電気の状況を見る	15
【エネルギー】で詳しい使用状況を見る	16
発電モニター	16
使用量	17
料金	18
累積発電量	19
エネルギーの設定を変える<エネルギー設定>	20

停電時発電継続運転 停電時発電継続仕様の場合

停電時に電気を使う<停電時発電継続運転>	25
----------------------	----

メニューからの運転・設定

設定を変える／	
メニューから運転操作をする<メニュー>	32
発電の設定を変える・運転する<発電メニュー>	33
リモコンの設定を変える<音・その他メニュー>	36

こんなとき

リモコンのお手入れ	43
-----------	----

困ったとき

故障・異常かな?と思ったら	44
リモコンに(発電エラー)が出ているとき	46

ご参考

アフターサービスについて	47
--------------	----

必ずお守りください(安全上の注意)

発電ユニットの取扱説明書の内容も併せてご覧ください。

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

⚠注意

リモコンには磁石を使用しています

磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

リモコンのスピーカーに耳を近づけない

大きな音が出る場合があります、聴覚障害などを引き起こす原因になります。



禁止

お願い

リモコンは0℃～40℃の室温で使用する

故障の原因になります。

リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

表示画面(タッチパネル)は、必ず指でタッチする

表示画面(タッチパネル)は、鋭利なものや固いもの(ボールペン、ピンなど)で押したり、必要以上に強く押したりしない

正常に動作しなかったり、タッチパネルの表面を傷つける原因になります。

リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない

変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

● 停電時発電継続仕様の場合

⚠ 危険

災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は、停電時発電継続運転をしない



禁止

火災などの原因になります。

⚠ 警告

停電時専用コンセントが設けられていることを確認する



停電時に発電ユニットで発電した電気を使用 必ず守る
するには、停電時発電継続運転専用のコンセントが必要です。停電時専用コンセントには「エネファーム停電時自立発電専用 出力電力 700W」と表示されていることを確認してください。

停電時専用コンセントには、電源が切れると生命・財産に損害を受けるおそれのある、以下のような機器を接続しない



禁止

- すべての医療用機器
- 灯油などを用いた暖房機器
- バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器および周辺機器
- 冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
- その他、電源が切れると生命・財産に損害を受けるおそれのある機器

停電時専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。

消費電力が700W以上になる機器は接続しない

停電時発電継続運転で利用できる電気の量は最大約700Wです。

停電時専用コンセントと家庭内の普通のコンセントを、延長ケーブルなどで絶対に接続しない



禁止

感電、発火などの原因になります。

停電時以外は停電時専用コンセントに電気機器を接続しない



接続した電気機器に突然電気が流れ、機器が損 必ず守る
傷する原因や、突然の動作による事故の原因になります。

停電していない時に、意図的にブレーカーを切って停電時発電継続運転させない

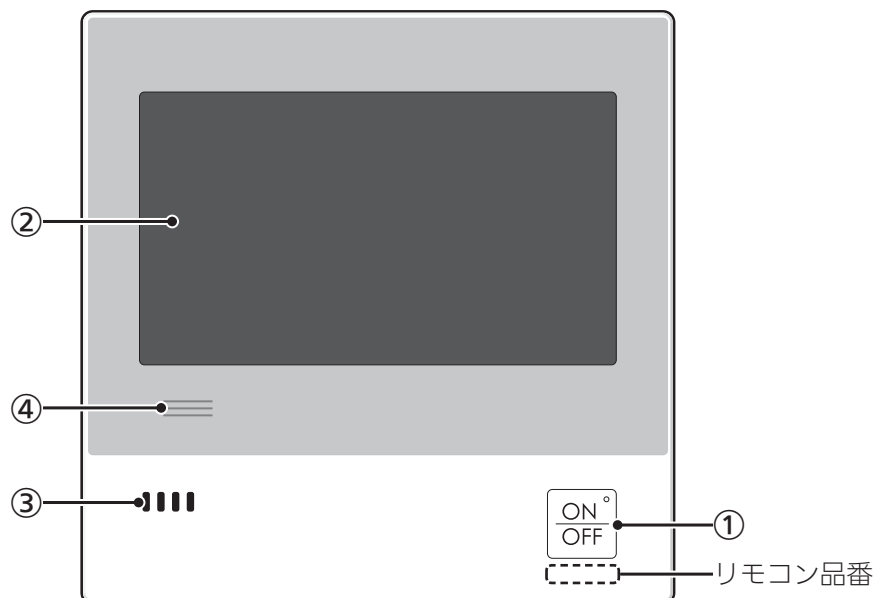


禁止

思わぬ事故の原因になります。また、本来の機能、メリットが損なわれます。

各部のなまえとはたらき(リモコン)

● 発電リモコン



① ON/OFFスイッチ・ランプ

- ・画面を表示させたり消したりするときに。
- ・画面を表示するとランプ点灯、画面が消えるとランプ消灯します。
- ・不在停止中はランプ点滅。(P34)

② 表示画面(P8,10,12)

- ・タッチパネルです。(P7)
- ・画面が消えているときにタッチすると、画面を表示します。
- ・リモコンの節電のため、「表示の節電」※機能を備えています。

③ スピーカー

④ 発電ランプ

- ・発電ユニットで発電中に点灯します。
- ・現在の使用電力の状態を、色で表します。

使用電力が多い	
↑	
1.2kW	オレンジ色 (節電お知らせ)
	購入電力が増えています 節電してください
0.7kW	青色
	購入電力が少し増えています
↓	緑色
少ない	発電ユニットの発電内で 上手に使用されています

- ・逆潮流の場合は、買電中か売電中かを表示します。

オレンジ色 (節電お知らせ)	使用電力が発電電力より多いので 買電しています
青色	使用電力が発電電力より少ないので 売電しています

※表示の節電について

- ON/OFFスイッチを押したり画面をタッチしたりしないまま約10分たつと、表示が消えます。
※表示が消えるまでの時間を短め(約1分)に変更することもできます。(P38)
- 以下の操作で表示の節電が解除されます。
 - ・画面をタッチする
 - ・ON/OFFスイッチを押す
- 【停電時発電継続仕様の場合】
停電時発電継続運転中は、表示の節電はしません。

表示画面(タッチパネル)の操作の基本

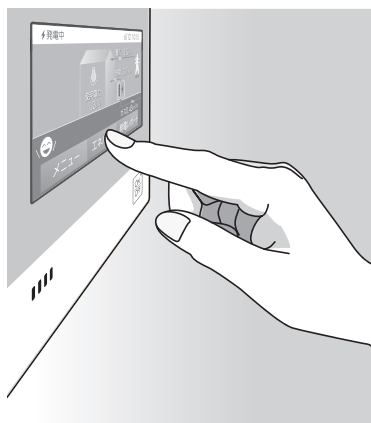
- このリモコンの表示画面は、指でタッチするとスイッチ操作ができます。
- 圧力を感知するタイプのタッチパネルです。ある程度の力で確実にタッチしてください。

※片方の指で画面を触りながらもう片方の指で操作するなど、2点以上同時にタッチすると、正常に動作しません。
※必要以上に強く押すと、タッチした部分に画面のゆがみやムラが出ます。パネルの特性で、異常ではありませんが、何度も強く押すと故障の原因になる場合があります。

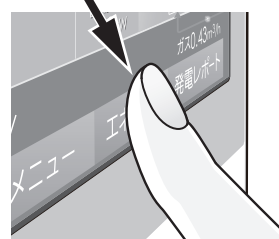
お願い	表示画面(タッチパネル)は、必ず指でタッチする
	表示画面(タッチパネル)は、鋭利なものや固いもの(ボールペン、ピンなど)で押したり、必要以上に強く押したりしない
	正常に動作しなかったり、タッチパネルの表面を傷つけたりする原因になります。

? スイッチ操作がうまくいかないときは・・・

指の先か爪で
タッチするように
してみてください



スイッチに指が当たる前に、爪や指の先端がスイッチ以外の場所に当たると、スイッチがタッチを感知しないことがあります。



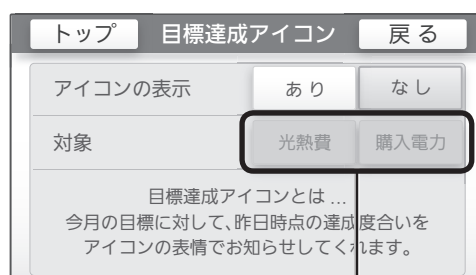
表示がグレーになっている部分は、タッチしてもスイッチ操作はできません

例) 前のページがないとき



タッチしても
操作はできません

例) アイコンの表示を【なし】にしたとき



設定できません

お知らせ

- 表示画面に市販の保護シートなどを貼り付けると、正常に動作しないことがあります。
- 画面の液晶には、一部に点灯しないドット(点)または、常時点灯するドット(点)が存在する場合がありますが、故障ではありません。

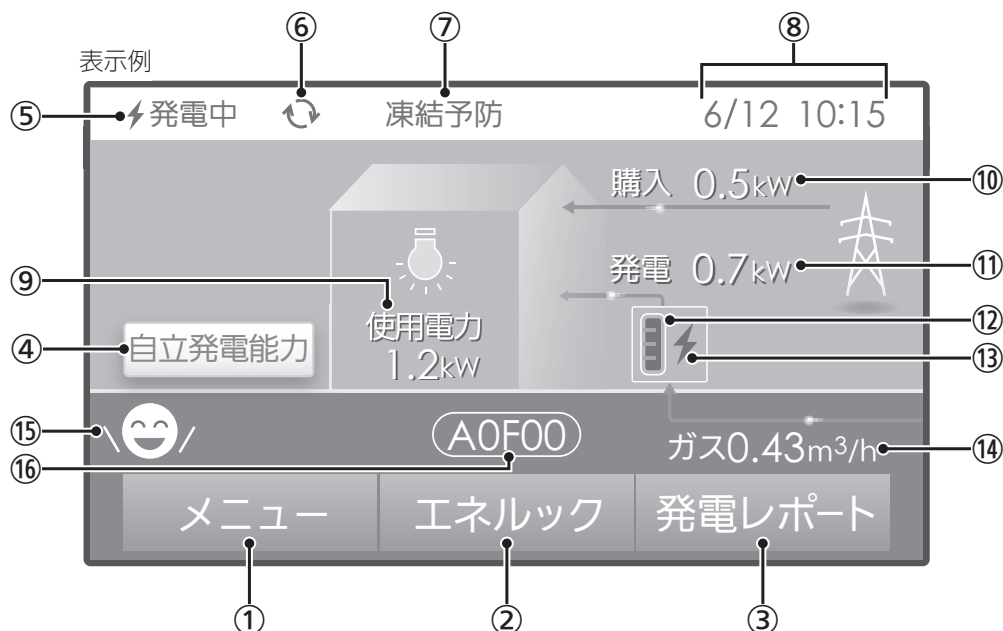
各部のなまえとはたらき(リモコン)

トップ画面

エネルギーの状況を確認する画面です。

逆潮流の場合は画面が異なりますので
P10～11をご覧ください

下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって異なる表示をします。



● タッチできるスイッチ表示

① メニュースイッチ

いろいろな設定を変えたり、メニューから運転するとき。(P13,33,36)

② エネルギースイッチ (P16)

③ 発電レポートスイッチ (P15)

④ 【停電時発電継続仕様の場合】

自立発電能力スイッチ

停電時発電継続運転時、発電能力を上げることができ条件が揃っているときに表示。(P30)

● その他の表示(タッチしても変わりません)

⑤ 発電状況表示 (P9)

⑥ 発電モードマーク (P9)

⑦ 凍結予防表示

発電ユニットの凍結予防運転が作動しているときに表示。

⑧ 日付・時計表示 (P13)

⑨ 使用電力

現在の使用電力を表示。

⑩ 購入電力

現在購入している電力を表示。

⑪ 発電電力

現在の発電電力を表示。

⑫ 貯湯量表示

オレンジ色：貯湯タンク内のお湯が満タンです
白色：貯湯タンク内のお湯が満タンではありません

⑬ 発電表示

発電中は⚡を表示。

⑭ ガス使用量

現在の発電ユニットでのガス使用量を表示。

⑮ 目標達成アイコン

目標値より使用実績が多いか少ないかを、アイコンの表情でお知らせします。
(昨日までの使用状況を反映します)



上手にご利用
いただいています



イイ感じ



ほぼ
目標どおり



目標値を
超えています

⑯ 故障表示

不具合が生じたときに表示。(P46)

(つづき)

発電状況表示の見かた

そのときの発電状態や、発電の設定を表示します。

⚡ 発電中

表示	状態
⚡ (点灯)	発電しています
⚡ (点滅)	起動中(発電準備中)です
⚡ ↔ ⚡ (交互表示)	発電停止の動作中です
(表示なし)	発電ユニットは停止しています

表示	状態
発電中	発電しています
起動中	起動中(発電準備中)です
停止中	発電停止の動作中です
(表示なし)	発電ユニットは停止しています
発電禁止	発電を強制的に禁止しています
発電×	発電ユニットが使用できない場合に表示します
停電時発電継続仕様の場合	⚡ 自立 ↔ ⚡ 自立 (交互表示) 停電時発電継続運転しています
	⚡ 自立・高 ↔ ⚡ 自立・高 (交互表示) 高出力モード(P30)で停電時発電継続運転しています

各部のなまえとはたらき(リモコン)

発電モードマークの見かた

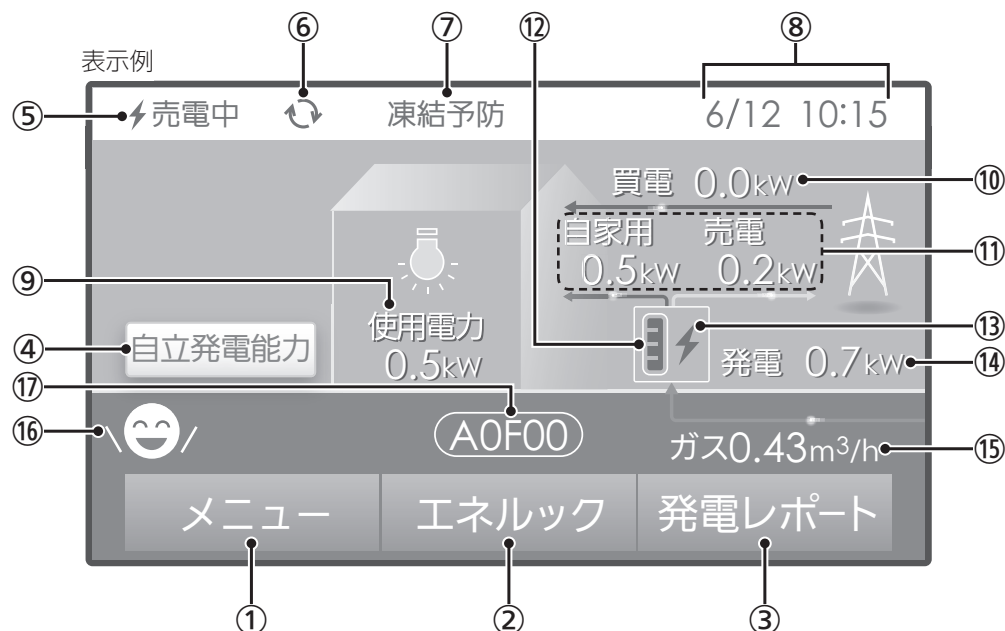
🔄 タンクリフレッシュ運転マーク		長時間お湯の使用がなかったときなどに、発電ユニットの貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。
M マイコンメーター確認マーク	M 発電中	1日に数回約6分間、発電能力を制限しています。
	M のみ	●お客さま宅のマイコンメーター(ガスメーター)の誤警報防止のため、発電ユニットは26日間連続して発電すると、27日目に約24時間停止します。この機能により停止している間は、この表示が出ます。 ●この表示が出たら、すべてのガス機器(暖房も含む)を最低70分以上使用しないでください。70分あけずにガス機器を使用すると、ガスメーター(マイコンメーター)がガス漏れと誤警報します。

各部のなまえとはたらき(リモコン)

(つづき)

トップ画面(逆潮流の場合) エネルギーの状況を確認する画面です。

下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって異なる表示をします。



● タッチできるスイッチ表示

① メニュースイッチ

いろいろな設定を変えたり、メニューから運転するとき。(P13,33,36)

② エネルックスイッチ(P16)

③ 発電レポートスイッチ(P15)

④ 【停電時発電継続仕様の場合】

自立発電能力スイッチ

停電時発電継続運転時、発電能力を上げることができ条件が揃っているときに表示。(P30)

● その他の表示(タッチしても変わりません)

⑤ 発電状況表示(P11)

⑥ 発電モードマーク(P11)

⑦ 凍結予防表示

発電ユニットの凍結予防運転が作動しているときに表示。

⑧ 日付・時計表示(P13)

⑨ 使用電力

現在の使用電力を表示。

⑩ 買電力※

現在購入している電力を表示。

⑪ 発電電力のうちの自家への供給電力/売電力※

⑫ 貯湯量表示

オレンジ色：貯湯タンク内のお湯が満タンです
白色：貯湯タンク内のお湯が満タンではありません

⑬ 発電表示

発電中は⚡を表示。

⑭ 【停電時発電継続仕様の場合】

発電電力

現在の発電電力を表示。

⑮ ガス使用量

現在の発電ユニットでのガス使用量を表示。

⑯ 目標達成アイコン

目標値より使用実績が多いか少ないかを、アイコンの表情でお知らせします。
(昨日までの使用状況を反映します)



上手にご利用
いただいています



イイ感じ



ほぼ
目標どおり



目標値を
超えています

⑰ 故障表示

不具合が生じたときに表示。(P46)

※売電力・買電力は、どちらかのみ表示します。

(つづき)

発電状況表示の見かた

そのときの発電状態や、発電の設定を表示します。



表示	状態
 (点灯)	発電しています
 (点滅)	起動中(発電準備中)です
 (交互表示)	発電停止の動作中です
(表示なし)	発電ユニットは停止しています

表示	状態
発電中	発電しています
起動中	起動中(発電準備中)です
停止中	発電停止の動作中です
(表示なし)	発電ユニットは停止しています
発電禁止	発電を強制的に禁止しています
発電×	発電ユニットが使用できない場合に表示します
電圧抑制 ※	発電ユニットの出力を一時的に抑えています
売電中	発電した電力を売電しています
停電時発電継続仕様の場合  自立 ↔  自立 (交互表示)	停電時発電継続運転しています
	 自立・高 ↔  自立・高 (交互表示) 高出力モード(P30)で停電時発電継続運転しています

※自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が法律で定められた上限値を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。系統の電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。
詳細は、発電ユニットの取扱説明書をご参照ください。

発電モードマークの見かた

		長時間お湯の使用がなかったときに、発電ユニットの貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。
		1日に数回約6分間、発電能力を制限しています。
		●お客さま宅のマイコンメーター(ガスメーター)の誤警報防止のため、発電ユニットは26日間連続して発電すると、27日目に約24時間停止します。この機能により停止している間は、この表示が出ます。 ●この表示が出たら、すべてのガス機器(暖房も含む)を最低70分以上使用しないでください。70分あけずにガス機器を使用すると、ガスメーター(マイコンメーター)がガス漏れと誤警報します。

(つづく)

各部のなまえとはたらき(リモコン)(つづき)

(つづき)

メニュー画面

メニュー設定画面の表示例

下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって異なる表示をします。

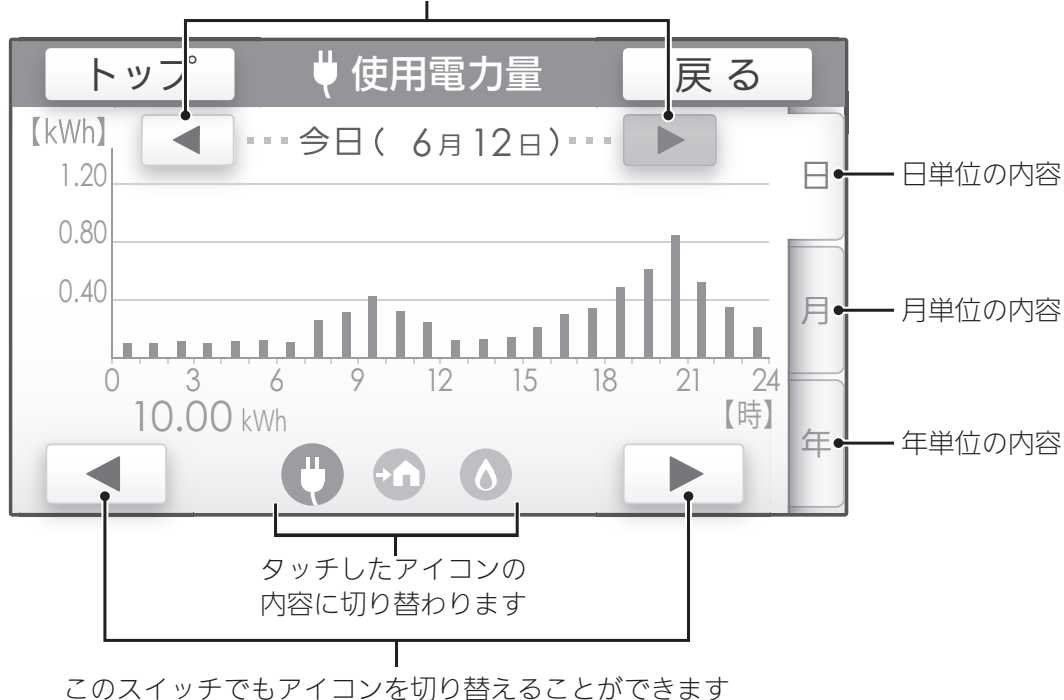


エネルギー画面

使用量のグラフの表示例

下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって異なる表示をします。

日単位の場合は「今日」「昨日」、月単位の場合は「今月」「先月」、年単位の場合は「今年」「昨年」に画面を切り替えることができます

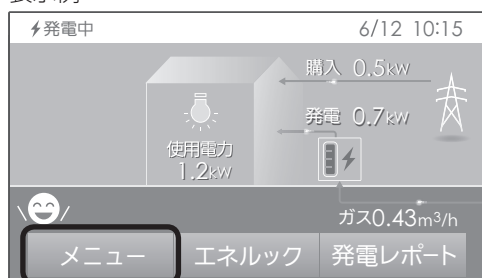


リモコンで日時をあわせる

手順

1 ①トップ画面で【メニュー】をタッチし

表示例



②【音・その他メニュー】をタッチする



★ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

2 ①【日時あわせ】をタッチし



②【日付と時刻】の▶をタッチする



例：2016年6月12日10時15分

3 ①日付と時刻を入力し



それぞれのカーソルをタッチしてから数字をタッチして入力

②【決定】をタッチして確定する



【日時あわせ 完了】

》しくみ

- 【決定】をタッチしないと、日時あわせは完了しません。
- 空白欄があると、【決定】をタッチできません。

各部のなまえとはたらき(リモコン)/リモコンで日時をあわせる

お知らせ

- 停電後または電源を切ったあとは、再通電したときに日時がリセットされている場合がありますので、日時をあわせ直してください。(日時の設定がされていないと発電しません)

エネルギーとは

● ガス・電気の使用状況をリモコンで確認できる機能です

- 現在の使用状況をトップ画面(P8,10)で手軽に確認できます。
また、詳しい使用状況は【発電レポート】(P15)、【エネルギー】(P16)で確認できます。
- 必要に応じて、表示や料金単価・目標値などの設定を変更できます。(P20「エネルギーの設定を変える」)
- エネルギーの表示は、1時間に1回もしくは、エネルギースイッチをタッチしたときに更新されます。

確認できるエネルギーや表示する値について

● 発電ユニットで使用したガスと、家中の電気の使用状況を確認できます

- 0:00から次の0:00までの使用分を「1日分」として、積算します。
- ガス使用量は、家庭内すべての使用量ではありません。発電ユニットを通らないガス(給湯機器、ガスコンロ、ガスファンヒーターなど)の使用分は、積算しません。
- 停電があった場合や発電ユニットの電源を切った場合は、当日分のデータが削除されたり正しい値を表示しなかったりします。

● 逆潮流の場合は、売電・買電の状況も確認できます

■ 売電・買電とは

- 売電とは、発電ユニットの発電電力が使用電力より多い場合に、余った電力を電力会社に売ることです。
- 買電とは、発電ユニットの発電電力が使用電力より少ない場合に、不足している電力を電力会社から買うことです。

● 表示する値は、実際の使用量や料金とは異なります

- リモコンに表示する使用量・料金などの値は目安です。
- リモコンに表示する料金に基本料金は含みません。
- ガス・電気の料金は、ご家庭に設置されている各メーターの使用量に応じて請求されます。リモコンに表示する金額で請求されることはありません。(特にガスについては、発電ユニット以外で使用する場合がありますため、請求額が大きく異なります)
- ガス・電気の実際の料金単価は、使用量に応じて変動します。また、料金プランによっては、料金単価が時間毎に変わる場合もあります。
- 表示する値が記号の場合があります。
エネルギーの値がリモコンに表示できる桁数より大きくなった場合は、「#」を表示します。
また、エネルギーの値の計算が不可能な状態になった場合(例：使用電力量が「0」だった場合に、自給率の計算(発電量÷使用電力量×100)の値が出せないときなど)は、「-」を表示します。

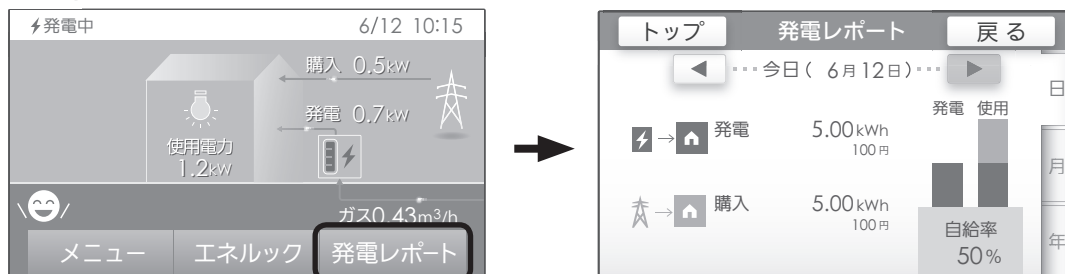
【発電レポート】で電気の状況を見る

- 電気の状況(発電量、使用電力量、購入電力量(逆潮流の場合は買電量)、自給率)を、日・月・年単位で確認できます。

手順

1 トップ画面で【発電レポート】をタッチする

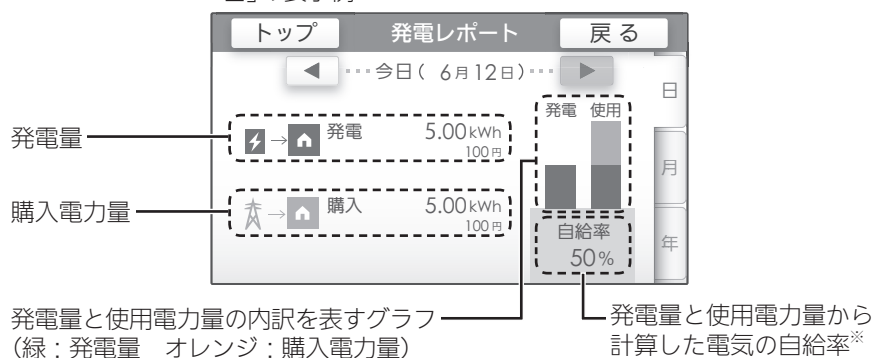
表示例



★ヒント

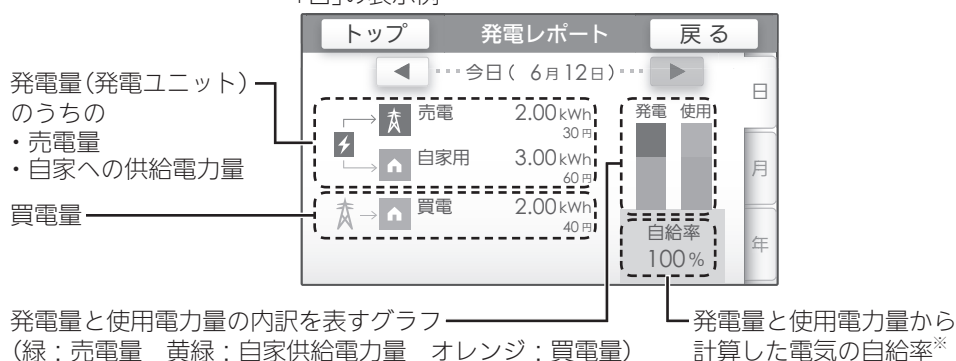
- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

「日」の表示例



【逆潮流の場合】

「日」の表示例



※自給率＝発電量÷使用電力量×100

▶参照

- P12「エネルギー画面」

》しくみ

- 自給率が300%を超えたり、33%以下になったりした場合は、グラフの途中が〜で省略されます。

【エネルギー】で詳しい使用状況を見る

発電モニター



- 発電量の履歴を、日・月・年単位で確認できます。

手順

① トップ画面で【エネルギー】をタッチし

表示例



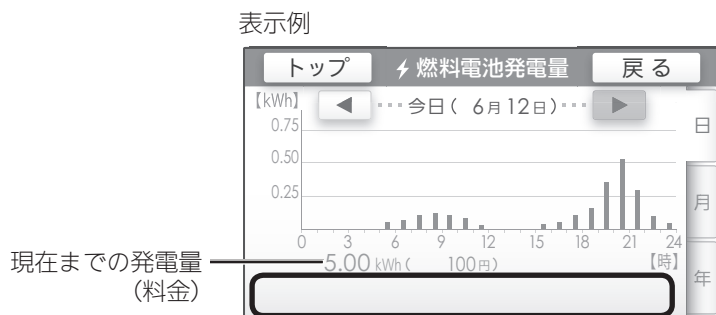
② 【発電モニター】をタッチする



★ ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

表示例



▶ 参照

- P12「エネルギー画面」

【逆潮流の場合】このような項目アイコンが出ます



確認したい項目アイコンをタッチするか、◀ ▶ で切り替えられます

項目アイコン	
	燃料電池発電量
	売電量

発電ユニットの発電量と料金を確認できます。

発電ユニットの売電量と料金を確認できます。

お知らせ

- 燃料電池発電量に表示する料金は、電気(逆潮流の場合は買電)の料金単価(P2 1)を元に表示します。

使用量



- 使用電力量・購入電力量(逆潮流の場合は買電量)・発電ユニットのガス使用量の履歴を、エネルギーの項目ごとに日・月・年単位で確認できます。

手順

1 ① トップ画面で【エネルギー】をタッチし

表示例



② 【使用量】をタッチする



★ ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

表示例



▶ 参照

- P12「エネルギー画面」

項目アイコン	料金表示	目標表示
使用電力量	表示しません	「月」のみ表示
購入電力量 買電量 ※	表示	「月」のみ表示
ガス使用量	表示	「月」のみ表示

※逆潮流の場合

【エネルギー】で詳しい使用状況を見る

料金

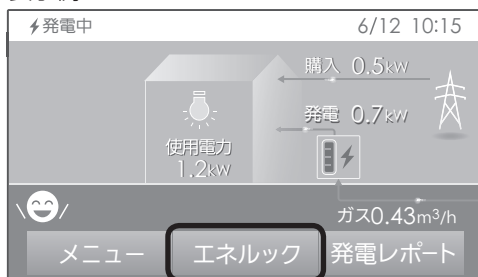


- 購入電力(逆潮流の場合は売電量・買電量)とガスの料金、料金全体の比率、項目ごとの詳細(グラフ)を、月・年単位で確認できます。詳細グラフでは現時点の目標と今月の目標も表示するので、省エネの意識づけに役立ちます。
- 料金単価の設定を変更する場合は、P21「料金設定」を変更してください。

手順

1 ① トップ画面で【エネルック】をタッチし

表示例

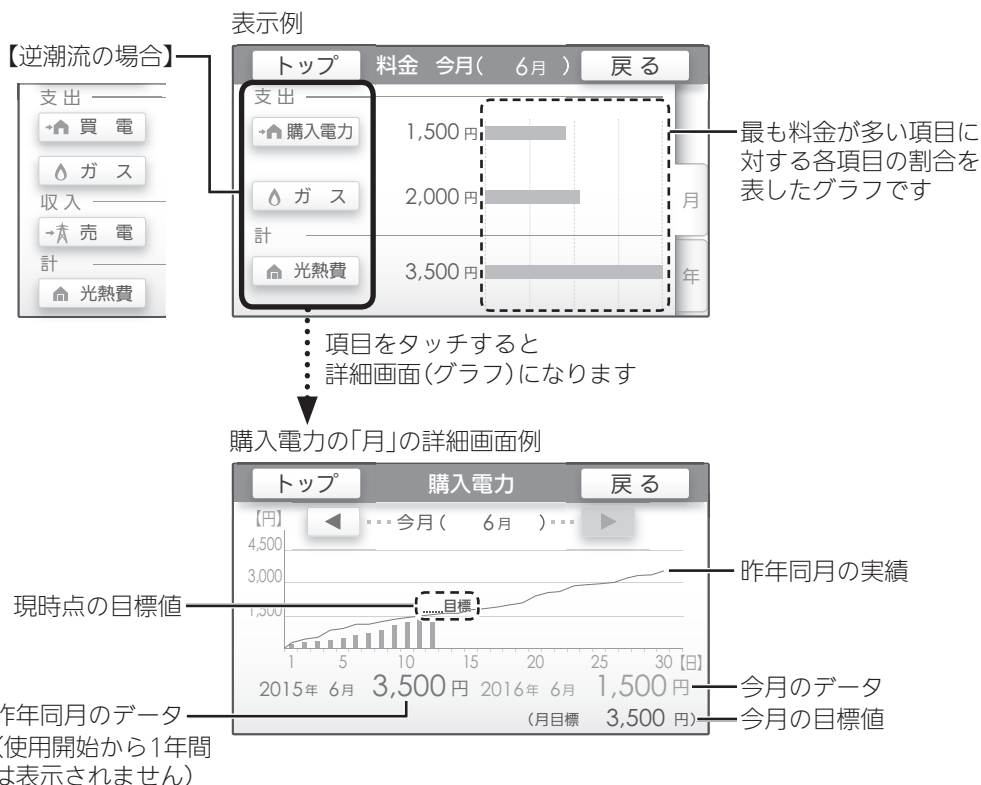


② 【料金】をタッチする



★ ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。



▶ 参照

- P12「エネルック画面」

★ ヒント

- 光熱費とは、購入電力・ガスの使用料金を合計したものです。逆潮流の場合の光熱費は、買電力と売電力の料金の差とガスの使用料金を合計したものです。

》 しくみ

- 「目標」は「今月」のみ表示します。

お知らせ

- 昨年の値がない場合は、使用状況から予測して目標値の基準を自動的に算出します。

(つづき)

累積発電量



- 使用開始から現在までの発電の累積値が確認できます。

手順

1 ① トップ画面で【エネルギー】をタッチし

表示例



② 【累積発電量】をタッチする



★ ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

表示例

トップ	累積発電量	戻る
⚡ 燃料電池		
発電量	600kWh (	1 万 2 千円)

》 しくみ

- 料金は千円単位で表示します。
(百円単位切り捨て)

【逆潮流の場合】

表示例

トップ	累積発電量	戻る
⚡ 燃料電池		
売電量	200kWh (	4 千円)
自家用	400kWh (	8 千円)

【エネルギー】で詳しい使用状況を見る



- エネルギーをより便利に使うために、お好みに合わせて設定が変更できます。

エネルギー設定内容

エネルギーメニュー	項目		設定内容	初期設定	参照ページ
料金設定	電気 ^{※1}		0～999円/kWh	20円/kWh	P21
	買電 ^{※1}		0～999円/kWh	20円/kWh	
	売電 ^{※1}		0～999円/kWh	10円/kWh	
	ガス		0～999円/m ³	100円/m ³	
目標値設定	電気代		50～150%	100%	P22
	ガス代		50～150%	100%	
トップ画面の表示内容	目標達成アイコン	アイコンの表示	☐ あり ☐ なし	あり	P23
		対象	☐ 光熱費 ☐ 購入電力 ^{※2}	光熱費	
エネルギー初期化	実行			—	P24

※1：逆潮流の場合、「電気」ではなく「買電」「売電」を表示します。

※2：逆潮流の場合、「購入電力」は「買電」になります。

料金設定

手順

1 ①トップ画面で【エネルギー】をタッチし

表示例



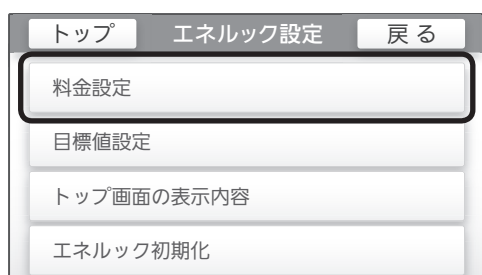
②【エネルギー設定】をタッチする



★ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

2 ①【料金設定】をタッチし



②設定したい項目をタッチして選ぶ



※逆潮流の場合、「電気」は「買電」「売電」になります。

3 ①単価を変更し

電気料金の表示例



②【決定】をタッチして確定する



》しくみ

- 変更後の単価は、過去のデータにも反映されます。

お知らせ

- 料金単価は「ガス使用量のお知らせ」「電気使用量のお知らせ」などの明細書を参考にしてください。(各明細書について不明な場合は、ガス事業者・電気事業者にお問い合わせください)

目標値設定

手順

1 ①トップ画面で【エネルギー】をタッチし

表示例



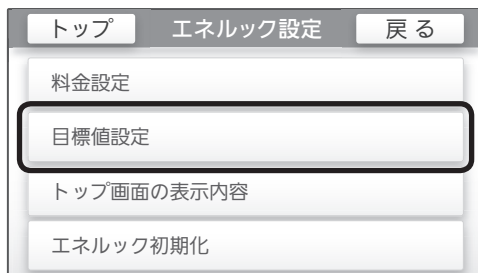
②【エネルギー設定】をタッチする



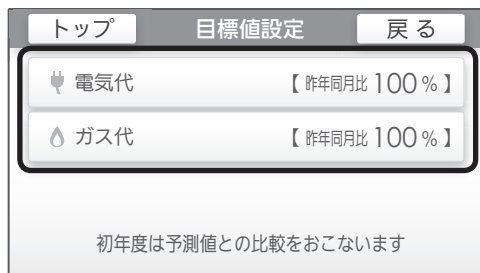
★ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

2 ①【目標値設定】をタッチし



②設定したい項目をタッチして選ぶ



3 ①目標値を変更し

電気代の表示例



②【決定】をタッチして確定する



》しくみ

- 初年度は「昨年同月」の料金は表示しません。

お知らせ

- 【目標値のヒント】昨年の実績と同じ程度の電気代・ガス代でよい場合は100%に、昨年より節約したい場合は100%より少なく、昨年より多く使用する見込みがある場合などは100%より多く設定してください。
- 昨年の値がない場合は、使用状況から予測して目標値の基準を自動的に算出します。

トップ画面の表示内容

- トップ画面の目標達成アイコンを表示するかしないか・目標達成アイコンでどのエネルギーの状態を表示するかを変更できます。

手順

1 ①トップ画面で【エネルギー】をタッチし

表示例



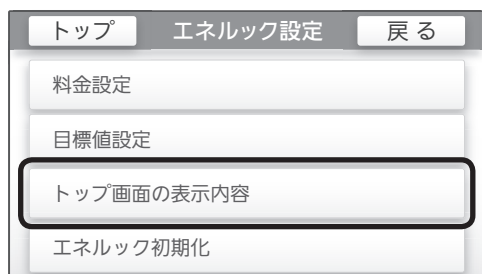
②【エネルギー設定】をタッチする



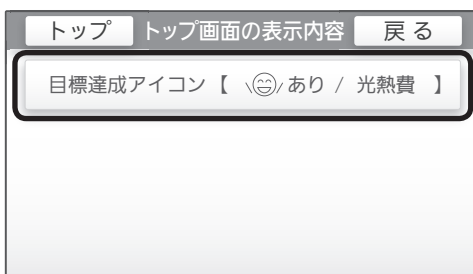
★ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

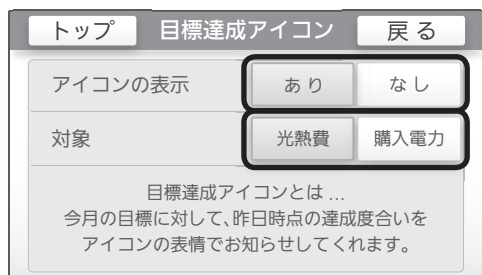
2 ①【トップ画面の表示内容】をタッチし



②【目標達成アイコン】をタッチする



3 変更したい項目の設定をタッチする



※逆潮流の場合、対象は「光熱費」か「買電」かを選べます。

》しくみ

- 「目標達成アイコン」画面で対象を変更すると、翌日から反映されます。

エネルギー初期化

- 変更したエネルギー設定の値や、エネルギーデータ(数値・グラフ)を初期化できます。

手順

1 ① トップ画面で【エネルギー】をタッチし

表示例



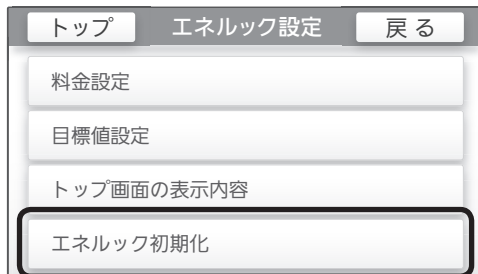
② 【エネルギー設定】をタッチする



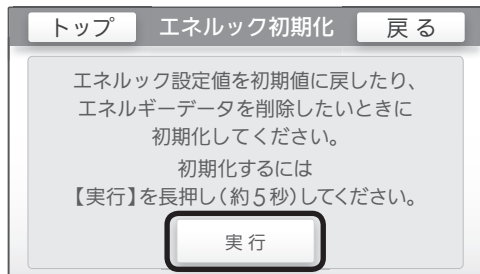
★ ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

2 ① 【エネルギー初期化】をタッチし



② 【実行】を長押し(約5秒)する



お知らせ

- 累積発電量(P19)のデータは初期化されません。
- 初期化しても当日分の数値やグラフは表示します。

停電時に電気を使う <停電時発電継続運転>

- 停電時発電継続仕様の場合は、停電時にも電気が使えます。

停電時にも電気が使える「停電時発電継続運転」のしくみ

- 発電ユニットの発電中に停電した場合、発電ユニットは停電時発電継続運転によって発電を継続するので、電気を使うことができます。（停電時発電継続運転のために必要な工事をおこなっている場合です）
電気機器は停電時専用コンセントを通して使用できます。（停電時専用コンセントには「エネファーム停電時自立発電専用 出力電力 700W」と表示しています。事前に設置場所を確認してください）
- 停電時発電継続運転時の発電量は最大約700Wです。
- 給湯機器の電源は入らなくなりますが、貯湯タンクにお湯が蓄えられている場合、給湯栓を開ければ約30℃のお湯が出てきます。
- 停電時発電継続運転は、停電時のみ使用してください。（普段使用すると、本来の機能やメリットを損ないます）

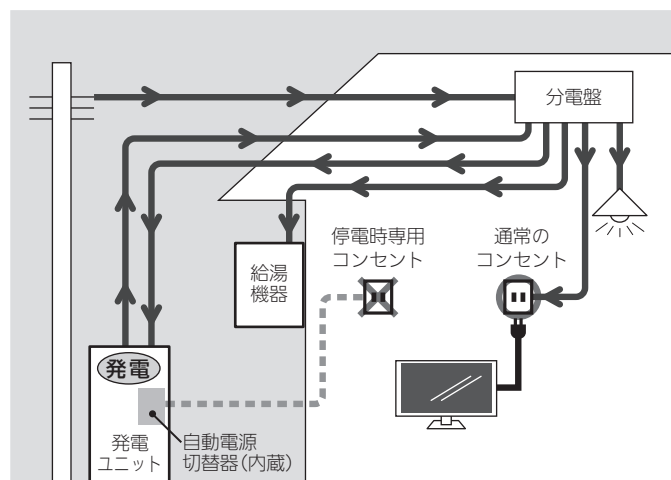


災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は、停電時発電継続運転しない
火災などの原因になります。

使用するコンセントと電気の流れ

通常

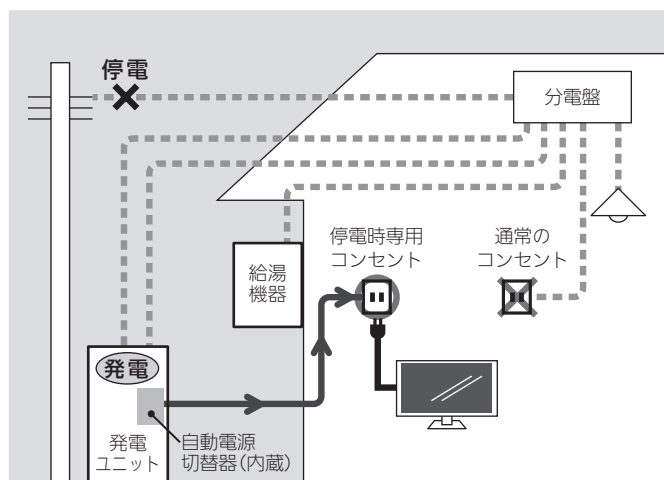
発電ユニットで作られた電気と、電力会社から供給された電気を併用します



→ 電気が流れています ... 電気は流れていません

停電時

発電ユニットで作られた電気を、停電時専用コンセントから供給します



→ 電気が流れています ... 電気は流れていません

以下の場合には停電時発電継続運転できません

- 停電したときに発電ユニットが発電を停止している場合
- 災害などでガスの供給が停止している場合
- 停電時発電継続運転開始後に、以下の理由などで停電時発電継続運転が停止したあと（停電が復旧するまで停電時発電継続運転できません）
 - ・「不在停止」や「発電禁止」で発電を停止した

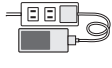
停電時に電気を使う(つづき) <停電時発電継続運転>

停電に備え、使用できる電気機器を確認しておいてください

使用する電気機器の消費電力の合計が700Wを超えないよう、取扱説明書や本体の表示シールなどで電気機器の消費電力を確認してください。

● 消費電力の目安(例)

使用できる電気機器

 液晶テレビ 150W	 ノートパソコン 75W
 スマートフォン・ 携帯電話の充電 15W	 卓上LED照明 20W
 ラジカセ 20W	
 扇風機 40W	 ガスファンヒーター 30W

--- 使用できない電気機器 ---

 アイロン 1200W	 保温ポット 900W(湯沸かし時)	 電気炊飯器 1100W	 ドライヤー 1200W	 ホットプレート 1300W
--	---	---	---	---

消費電力が大きく発電が停止する可能性がある電気機器

- ・冷蔵庫
- ・電子レンジ
- ・オーブントースター
- ・食洗機
- ・洗濯機
- ・衣類乾燥機
- ・温水洗浄便座
- ・掃除機
- ・こたつ
- ・エアコン
- ・電気カーペット

--- 使用してはいけない電気機器 ---

- 電源が切れると生命・財産に損害を受けるおそれのある機器
- バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
- すべての医療用機器
- 灯油などを用いた暖房機器

ガスファンヒーターの使用について



警告

- ガスファンヒーターを使用中は部屋の換気に注意する。
必ず1時間に1～2回(1～2分)程度、窓を開けるなどして換気をおこなってください。
- 停電時専用コンセントで使用する電力が少なく、ガスファンヒーターを使用すると過負荷で停電する場合は使用しない。
- ガスファンヒーター運転中に停電が発生したときは温風の吹出口や機器背面(エアフィルター部や取手部分)に手を触れない。(やけどのおそれ)
- 停電時専用コンセントでガスファンヒーターを使用しているときに異常を感じた場合には、ただちにガス栓を閉めてガスファンヒーターの使用を中止し、東邦ガスに連絡する。

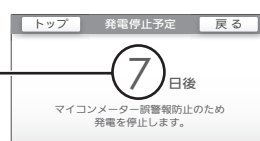
計画停電や工事などで停電が予定されている場合は

26日間連続して発電すると、27日目に約24時間発電が停止するしくみになっています。停電時発電継続運転と発電が停止するタイミングが合うと、停電時発電継続運転ができなくなります。停電予定日がわかっている場合は、事前に次の確認と操作をして、スムーズに停電時発電継続運転できるよう備えてください。

停電予定日の2日以上前には、この確認・操作をおこなってください

- ①「発電停止予定」(P35)で、何日後に発電停止が予定されているか確認する
(表示例の場合、「7日後」となる)

表示例



- ② ①で確認した日の前後に、1日ずつ追加する
(表示例の場合、「6日後・7日後・8日後」となる)

- ③ ②で出した日が、停電予定日と重なっているかどうか確認する

停電予定日に重なっている場合は
次へ

停電予定日に重なっていない場合は
このままでOK

発電メニューの「発電禁止」(P35)を「する」に設定

リモコンの発電状況表示(P9,11)の⚡が表示されていない状態(発電停止状態)であることを確認

発電停止確認後24時間以上たってから

「発電停止予定」(P35)が「26日後」になっていることを確認

「発電禁止」の設定を「しない」に戻す

停電したら(停電時発電継続運転のしかた)

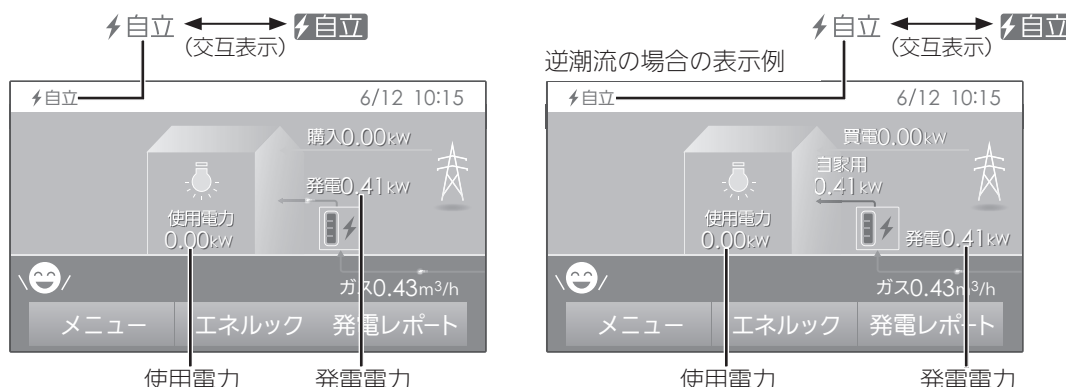
手順

- 1 「自立用コンセントの出力を準備中です。」の画面が「自立用コンセントの出力が準備できました。」の画面に変わったら【出力開始】をタッチする

表示例



- 2 「自立」が交互表示していることを確認する



》しくみ

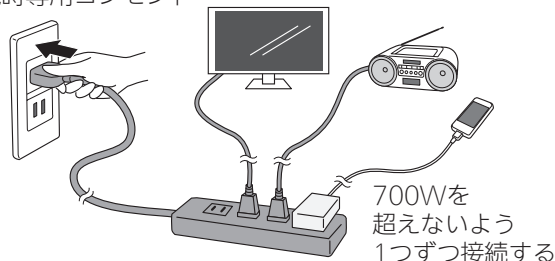
- 停電時発電継続運転開始後は、すぐには700Wは使用できません。発電電力は徐々に上昇し、700W(表示は「0.70kW」)になるまでに約1分かかります。(ただし、発電ユニットの状態によっては1分以上かかることがあります)

- 3 電気機器の電源プラグを停電時専用コンセントに差し込む

【電気機器が使えます】

- 使用する電気機器との合計が700Wを超えないよう使用電力表示を見ながら、1つずつ電気機器を追加してください。(P26「消費電力の目安(例)」)
- 【電気機器の電源を入れたとき】電気機器の種類によっては一時的に使用できない場合があります。90秒ほど待つと使用できるようになるため、電気機器をつないだままにしてください。
※約90秒待っても使用できない場合は、使用電力が発電量を超えているため、すぐに電気機器の数を減らしてください。
- 発電ユニット内の貯湯タンクが満タンになると、停電時発電継続運転ができなくなります。停電時発電継続運転中は、なるべくお湯を使用するようにしてください。

停電時専用コンセント

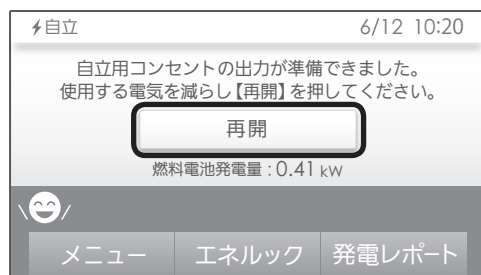


！注意

- 使用できない電気機器・使用してはいけない電気機器があるので、ご注意ください。(P26)
- リモコンの発電電力表示を確認しながら、使用できる消費電力の電気機器を接続してってください。
- 停電中、発電を停止すると、停電が復旧するまで発電をおこなうことができません。

■ 電気機器の使用中に電気が使えなくなったとき (使用電力が発電量を超えています)

- ①接続した電気機器をすぐに取り外す
- ②しばらく待ち、リモコンに次のような表示が出たら
【再開】をタッチする



- ③P28の手順2～3にそって使用する

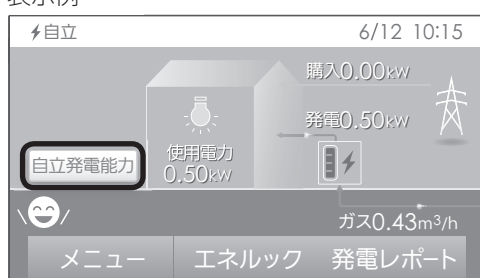
高出力モードで停電時発電継続運転をする

停電時発電継続運転時の発電量は最大約700Wですが、条件によっては700W出力できないことがあります。その場合、トップ画面に【自立発電能力】が表示されている間は、強制的に700Wまで出力を上げることができます。以下の手順で高出力モードに設定して使用してください。

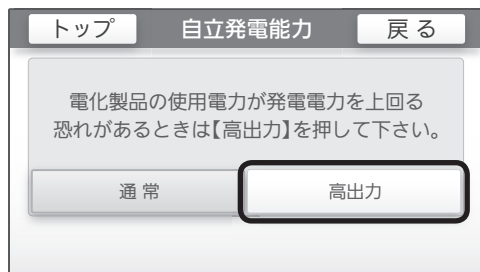
手順

1 トップ画面の【自立発電能力】をタッチする

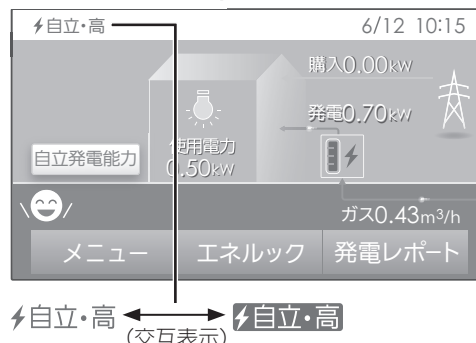
表示例



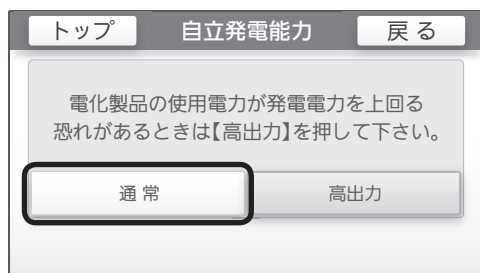
2 【高出力】をタッチする



トップ画面の表示例



3 700Wの出力が不要になれば、手順1～2の操作で【通常】をタッチして通常モードに戻す



700Wで使用し続けると、発電が停止しやすくなりますので、こまめに通常モードに戻してください

お知らせ

- 以下の状況では、高出力モードが自動的に解除されます。
 - ・ 停電時専用コンセントの使用電力が少ない
 - ・ 外気温が高い
 - ・ お湯使用量が少ない
- 再度、高出力モードで使用したい場合は、【自立発電能力】が表示されるまでお湯を使用してください。

停電時発電継続運転を停止させるには

「不在停止」(P34)を「する」に設定し、発電を停止させる

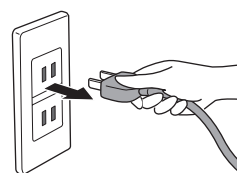
》しきみ

- 発電を停止させると、停電が復旧するまで発電できません。

停電が復旧したら

電気機器の運転スイッチを切り、
電気機器の電源プラグを停電時専用コンセントから抜く

停電が復旧すると、
停電時専用コンセントへの電気の供給が停止します。



！注意

- 電気機器をつないだままにすると、次回の停電時発電継続運転時に接続した機器に突然電気が流れ、機器を損傷したり、突然の動作による事故の原因になります。

設定を変える／メニューから運転操

- 【メニュー】から、いろいろな設定を変えたり、運転操作ができます。できる内容の詳細については、P33以降の手順の各項目をご覧ください。
- お使いのオプション機器によって、出ないメニューや項目があります。

メニュー内容

メニュー	項目		初期設定 (工場出荷時)	「全設定初期化」 で初期設定に 戻る項目	参 照 ページ	
発電メニュー	不在停止		しない	—	P34	
	発電停止回数		—	—		
	発電停止予定		—	—	P35	
	発電禁止		しない	—		
音・その他 メニュー	音	音量	 中	○	P37	
		音声ガイド	する	○		
		音声ガイドスピード	標準	○		
	日時あわせ	日付と時刻		--/-- --:--	—	P38
	画面設定	画面の明るさ		3	○	
		表示の節電	表示の節電	する	○	
			表示の節電までの時間	標準	○	
			凍結予防表示中の節電	しない	○	
			全画面時計表示	なし	○	
			全画面時計表示までの時間	標準	○	P39
	お手入れ		—	—	P40	
	タッチパネル補正		—	—		
	発電ランプ	明るさ	明るい	○	P41	
		節電お知らせ設定値 ※	1.2kW	○		
	発電ユニットの水抜き		—	—	P42	
	発電ユニットの水張り		—	—		
	全設定初期化		—	—		
	機器情報		—	—		

※逆潮流の場合は表示しません。

作をする <メニュー>

発電の設定を変える・運転する

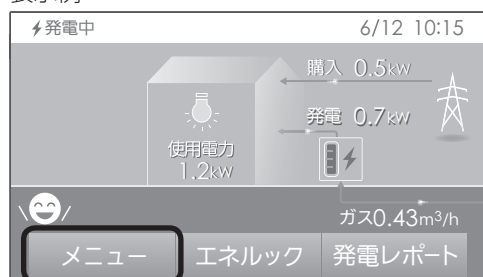
発電メニュー



手順

1 ① トップ画面で 【メニュー】をタッチし

表示例



② 【発電メニュー】を タッチする



★ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

2 項目を選んで、設定する



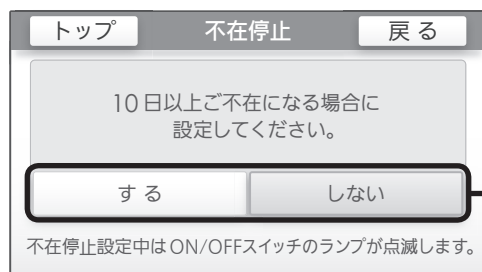
設定を変える／メニューから運転操

(つづき)

不在停止

不在停止

10日以上家をあけるなど、発電をしばらく停止したいときに。



【する】自動的にON/OFFスイッチが「切」になり、発電が停止します
(凍結予防は停止しません)

【しない】不在停止を解除

》しくみ

●不在停止中は、ON/OFFランプ点滅。

！注意

●長期不在時に凍結のおそれがある場合は、この方法ではなく水抜きが必要です。(発電ユニットの取扱説明書)

不在停止を解除するには

- ①ON/OFFスイッチを「入」にする
- ②「不在停止中です。不在停止を解除しますか。」の画面を表示したら、【はい】をタッチする

お知らせ

- ON/OFFスイッチの「入」「切」に関係なく、給湯栓からお湯(水)を出すと、自動的に不在停止は解除されます。

発電停止回数

発電停止回数

今までに発電を停止した回数が確認できます。

表示例

トップ	発電停止回数	戻る
手動停止回数	0 回	
合計停止回数	0 回	

不在停止(上記)と発電禁止(P35)の回数

手動停止回数と発電ユニットが自動で停止した回数の合計

作をする(つづき) <メニュー>

発電停止予定

発電停止予定

発電が長期間停止しなかった場合に、マイコンメーター(ガスメーター)の誤警報防止のため、26日間連続して発電すると、27日目に約24時間発電ユニットが停止するしくみになっています。発電ユニットが停止するまで何日かを確認できます。

トップ

発電停止予定

戻る

26日後

マイコンメーター誤警報防止のため
発電を停止します。

発電禁止

発電禁止

発電ユニットの水抜きをするときなど、強制的に発電を停止させたいときに。

トップ

発電禁止

戻る

発電禁止中は発電を停止します。

する

しない

【する】発電ユニットが停止します
(停止するまでに時間がかかります)

【しない】発電禁止を解除

！ 注意

- 必要なとき以外は、発電禁止を「する」にしないでください。機器の寿命低下の原因になります。

》 しきみ

- 【する】に設定したあと再度【しない】に設定した場合は、発電ユニットの停止動作が完了してから発電を起動します。

設定を変える／メニューから運転操作をするへメニュー

設定を変える／メニューから運転操

リモコンの設定を変える

音・その他
メニュー
≡

手順

1 ①トップ画面で【メニュー】をタッチし

表示例



②【音・その他メニュー】をタッチする



★ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

2 設定したい項目をタッチする



設定したい項目が表示されていないときはここをタッチしてページを送ってください

「お手入れ」以降の項目はP40へ

さらに設定したい項目をタッチしP37へ



→ P37へ

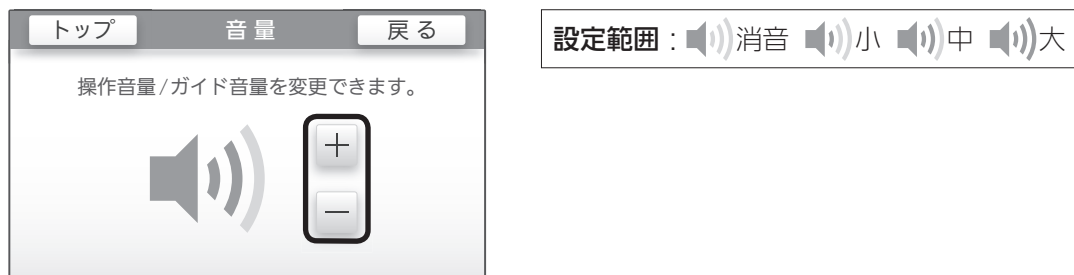
さらに設定したい項目をタッチしP38へ



作をする(つづき) <メニュー>

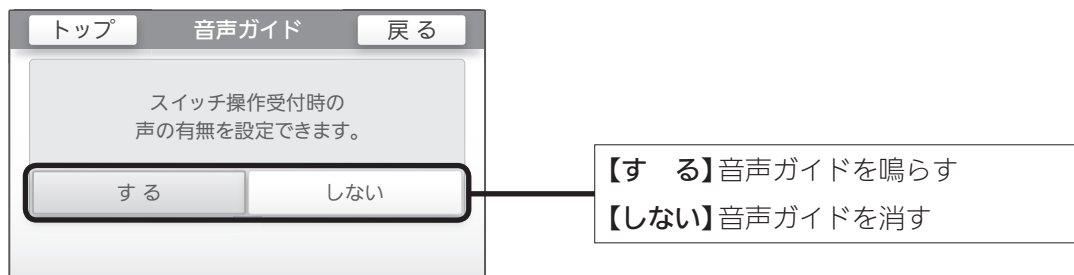
音 → 音量 音量

リモコンの音量を変えたいときに。



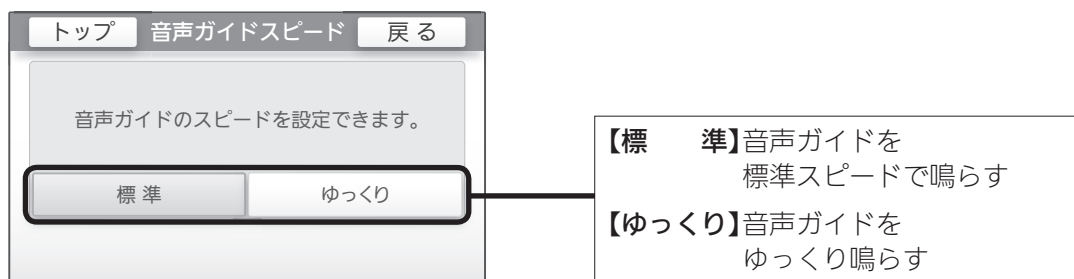
音 → 音声ガイド 音声ガイド

音声ガイド(声によるお知らせ)を消したいときに。



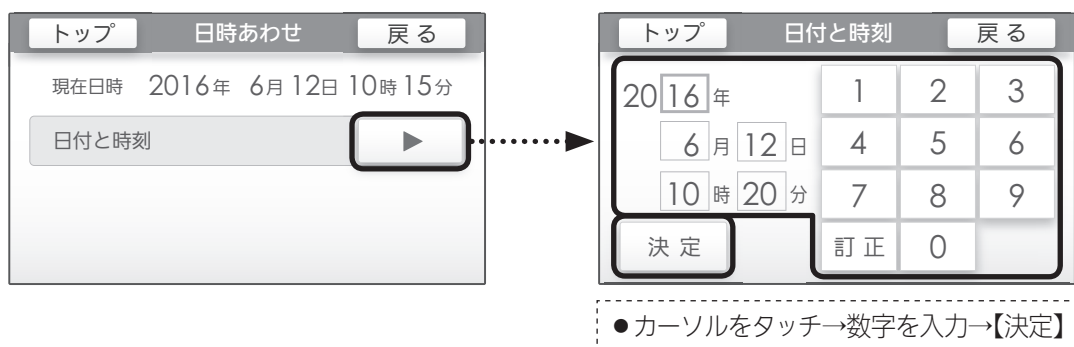
音 → 音声ガイドスピード 音声ガイドスピード

音声ガイド(声によるお知らせ)のスピードを変えたいときに。



日時あわせ 日時あわせ

日付と時刻を調整したいときに。



▶ 参照
●P13「リモコンで日時を合わせる」

設定を変える／メニューから運転操作をする(メニュー)

(つづく)

設定を変える／メニューから運転操

(つづき)

画面設定 → 画面の明るさ 画面の明るさ

表示画面の明るさを変えたいときに。



設定範囲：1～5

【+】にすれば画面が明るく、【-】にすれば暗くなります。

画面設定 → 表示の節電 表示の節電

表示の節電に関する設定の変更ができます。

表示の節電「する」の表示例

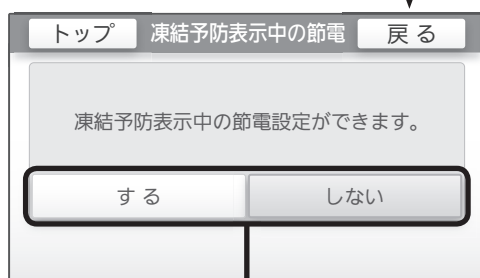
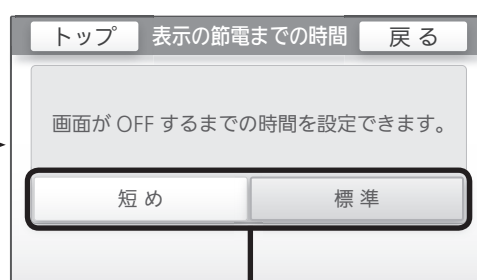
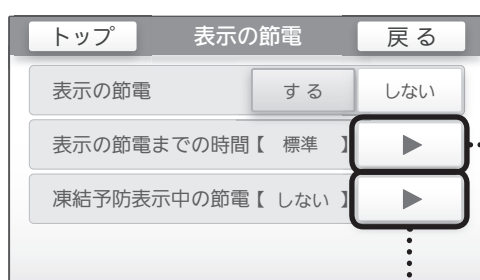


【する】下記「表示の節電「する」をタッチしたときの設定項目」へ

【しない】P39「表示の節電「しない」をタッチしたときの設定項目」へ

▶ 参照
● P6「※表示の節電について」

● 表示の節電「する」をタッチしたときの設定項目

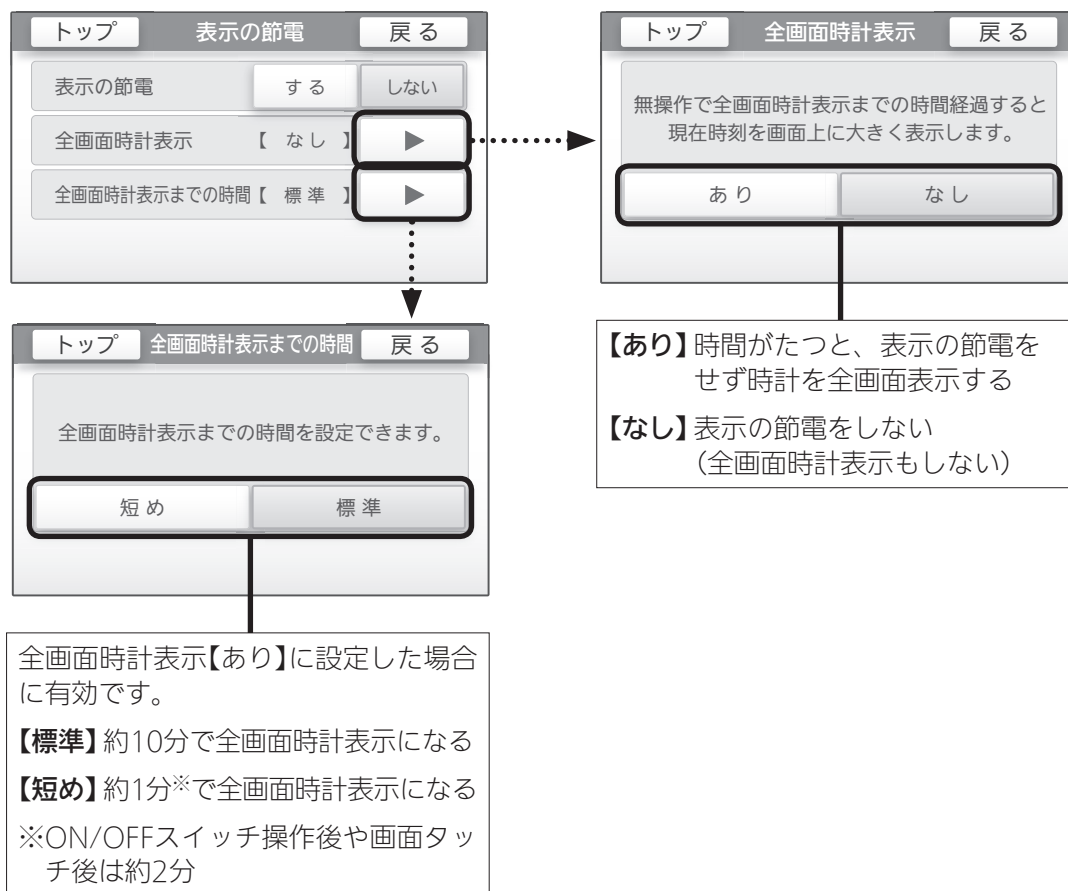


【標準】約10分で表示の節電になる
【短め】約1分※で表示の節電になる
※ON/OFFスイッチ操作後や画面タッチ後は約2分

【する】凍結予防運転中でも表示の節電をする
【しない】凍結予防運転中は表示の節電をしない

作をする(つづき) <メニュー>

● 表示の節電「しない」をタッチしたときの設定項目



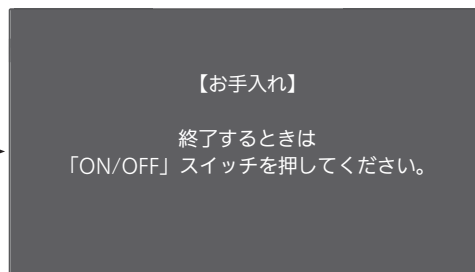
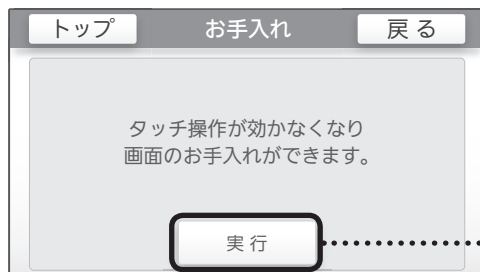
設定を変える／メニューから運転操

(つづき)

お手入れ

お手入れ

タッチパネルのお手入れをしたいときに。



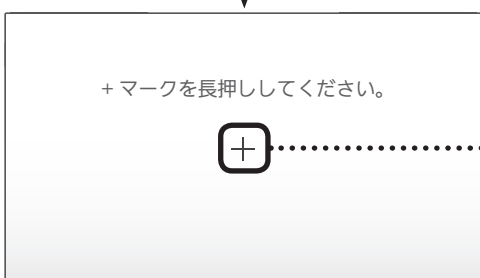
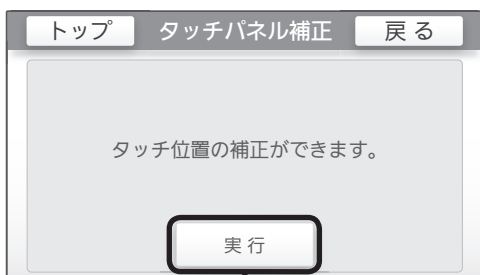
》しくみ

- ON/OFFスイッチを押すか、操作後約10分経過すると、お手入れモードは解除されます。

タッチパネル補正

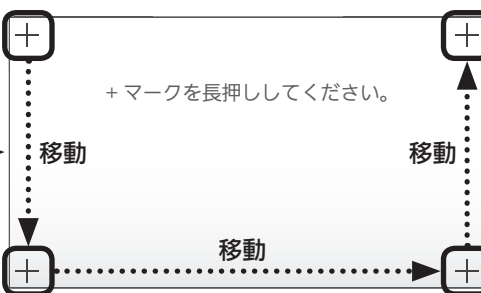
タッチパネル補正

タッチ位置のずれを直したいときに。

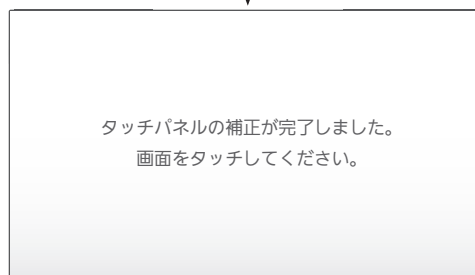


「+」を長押しする

- なるべく指先が「+」の中央に当たるようにして、長押ししてください。



移動する「+」をすべて長押しする



》しくみ

- 長押し of the touch was not recognized. In this case, return to the first long-press screen and try again.

》しくみ

- 画面をタッチすると、タッチパネル補正画面に戻ります。

作をする(つづき) <メニュー>

発電ランプ

発電ランプ

トップ 発電ランプ 戻る

明るさ	【 明るい 】
節電お知らせ設定値	【 1.2 kW 】

トップ 明るさ 戻る

発電ランプの明るさを設定できます。

明るい 暗い 消灯

- 日常的に使用電力が多く、発電ランプが頻繁にオレンジ色(節電お知らせ)になる場合などに、設定値を多めに設定してください。
- 逆潮流の場合は項目を表示しません。

トップ 節電お知らせ設定値 戻る

1.2 kW

燃料電池発電中に使用電力が設定値を超えるとお知らせします。

設定範囲：1.0～6.0(kW)

発電ユニットの水抜き

発電ユニットの水抜き

この設定だけでは発電ユニットの水抜きはできません。
必ず発電ユニットの取扱説明書の該当ページをご覧ください。

トップ 発電ユニットの水抜き 戻る

発電ユニットの水抜きができます。

開始

この設定だけでは発電ユニットの水抜きはできません。
取扱説明書の該当ページをご覧ください。

(つづき)

発電ユニットの水張り

発電ユニットの水張り

この設定だけでは発電ユニットの水張りはできません。
必ず発電ユニットの取扱説明書の該当ページをご覧ください。

トップ

発電ユニットの水張り

戻る

発電ユニットの水張りができます。

開始

この設定だけでは発電ユニットの水張りはできません。
取扱説明書の該当ページをご覧ください。

全設定初期化

全設定初期化

メニューの設定を初期設定に戻したいときに。

トップ

全設定初期化

戻る

変更したメニュー内容を初期設定に戻します。
初期化するには【実行】を
長押し(約5秒)してください。

実行

▶ 参照

- メニュー一覧の
「全設定初期化」
で初期設定に戻る
項目(P32)

機器情報

機器情報

アフターサービスなどで必要なときに。

トップ

機器情報

戻る

発電ユニット情報

リモコンバージョン情報

トップ

発電ユニット情報

戻る

機種名 : ****

トップ

リモコンバージョン情報

戻る

バージョン : ***

※「*」には英数字が表示されます。

リモコンのお手入れ

- リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。
- ON/OFFスイッチが「切」でも、画面をタッチすると反応するしくみになっています。
画面のお手入れ時にリモコンの誤操作を防ぐためには、【メニュー】→【音・その他メニュー】→【お手入れ】(P40)の設定をしてください。

お願い	リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない 変色・変形・傷・割れなどの原因になります。
-----	---

故障・異常かな？と思ったら

●発電ユニットの取扱説明書の内容も併せてお読みください。

リモコンの表示や画面など		
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
ON/OFFランプが点灯しない	停電している。 発電ユニットの電源が切れている。	復旧を待つ。 電源の確認を。 (発電ユニットの取扱説明書)
日時がリセットされている	停電後または電源を切ったあとは、再通電したときに日時がリセットされている場合があります。	日時をあわせ直す。(P13)
表示の節電の状態にならない	音・その他メニューの「表示の節電」が、「しない」になっている。 または、「凍結予防表示中の節電」が「しない」になっている。 【停電時発電継続仕様の場合】 停電時発電継続運転中は、表示の節電はしません。	P38 異常ではありません。
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	リモコンの節電のため、「表示の節電」機能を備えています。 ON/OFFスイッチを押したり画面をタッチしたりしないまま、約10分たつと表示が消えます。	以下の操作で表示の節電を解除できます。 ●画面をタッチする ●ON/OFFスイッチを押す
タッチしたところと違うところが反応する	片方の指で画面を触りながらもう片方の指で操作するなど、2点同時にタッチすると、正常に動作しません。 使用していくうちに、タッチの位置にずれが生じることがあります。	1か所だけタッチする。 「タッチパネル補正」でずれを調整する。(P40)
画面をタッチしても反応しない	画面に市販の保護シートなどを貼り付けると、正常に動作しないことがあります。	保護シートをはがす。
画面に黒い点や常に点灯している点がある	画面の液晶は高度な技術で作られていますが、一部に点灯しない点または、常時点灯する点が存在する場合があります。	異常ではありません。
リモコンのスイッチや表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている	出荷時に表面に貼ってある保護のビニールは、はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。はがさずに使用した場合は、よく触れる部分などが破れてきたりはがれてきたりしますが、そこからリモコンに水が入って故障することはありません。	気になる場合は保護シートをはがす。
リモコンにMの表示が出ている	M 発電中を表示しているときは、発電能力を制限しています。(1日に数回約6分間) Mのみ表示している間は、発電ユニットは停止しています。	異常ではありません。 ●この表示が出たら、すべてのガス機器(暖房も含む)を最低70分以上使用しないでください。 ●約24時間で発電ユニットの停止は解除されます。
見る角度によっては画面が見えにくくなる	画面は正面からは見やすく、一定の角度を超えて画面を見ると見えにくい場合があります。	異常ではありません。
【逆潮流の場合】 「電圧抑制」の表示が出る	自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が法律で定められた上限値を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。(このとき「電圧抑制」を表示します) 系統の電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。	長時間表示が消えない場合は、電力系統側での対策が必要です。電力会社または東邦ガスに相談してください。

リモコンにメッセージを表示したとき

内容	こんなことが考えられます	処置
「セルフチェックを実施しています。」と「完了後、発電を自動的に再開します。」が交互に出る	発電ユニットの異常を検知してセルフチェックをしています。この表示が出ている間は発電が停止しています。	この表示が消えると発電を再開します。
「ただいま表示をOFFにすることはできません。」	停電時発電継続運転中や、故障表示中など、表示を消灯させてはいけない状況のときにON/OFFスイッチを「切」にすると、この表示が出ます。	操作可能な状態になると、この表示は出なくなります。
「発電ユニットの点検時期を過ぎています。」		東邦ガスに連絡してください。
「発電ユニットの点検時期が近づいています。」		
「発電ユニットの点検が必要です。」		
「発電ユニット停止までお待ちください。」		「メンテナンスを依頼してください。」のメッセージが出るまで待ってから、東邦ガスに連絡してください。
「メンテナンスを依頼してください。」		東邦ガスに連絡してください。 (発電は停止しています)

停電時発電継続運転に関して

こんなときは		こんなことが考えられます	処置
停電中	電気機器の電源が入らない	電気機器を通常のコンセントに接続している。	電気機器を「停電時専用コンセント」に接続する。
		電気機器の使用電力が発電量を超えている。	使用する電気機器の数をすぐに減らし、停電時専用コンセントが使えるようになるまで待つ。(P26) 「自立用コンセントの出力が準備できました。」とメッセージが出ているときは、メッセージに従って操作をする。
		停電時発電継続運転が停止している。(P25)	停電が復旧するまで発電できません。
	リモコンのON/OFFスイッチが「入」にならない	停電時発電継続運転が停止している。(P25)	停電が復旧するまで発電できません。
	お知らせ音(ピピッ)が鳴り、「発電継続のために、お湯を使ってください。」の表示が出ている	貯湯タンクが満タンになって発電が停止するのを予防するため、貯湯タンクが満タンに近づくと表示と音でお知らせします。	お風呂のお湯はりをするなどして、お知らせ音と表示が消えるまでお湯を使う。
画面表示がいつのまにか消えている	発電ユニットに不具合が生じた可能性があります。	停電復旧後、故障表示が出ている場合は処置をする。(P46)	
停電復旧後	電気機器の電源が入らない	電気機器を「停電時専用コンセント」に接続している。	電気機器を通常のコンセントに接続する。 停電が復旧すると、停電時専用コンセントへの電気の供給が停止します。

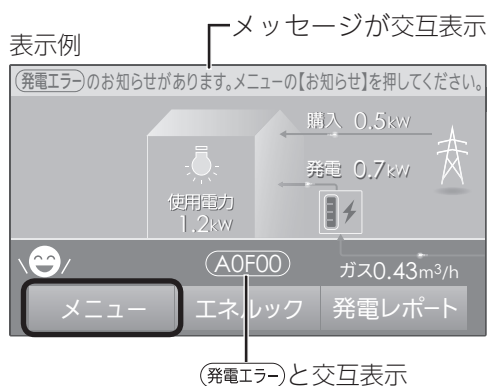
故障・異常かな？と思ったら

リモコンに(発電エラー)が出ているとき

- 不具合が生じたとき、(発電エラー)と5桁の英数字が交互表示し、画面上部に「(発電エラー)のお知らせがあります。メニューの【お知らせ】を押してください。」とメッセージが出ます。
以下の手順で発電エラーを解除してみてください。(表示の内容や処置方法は、発電ユニットの取扱説明書をご覧ください)

手順

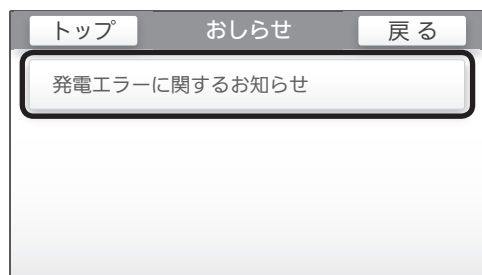
1 ①【メニュー】をタッチし



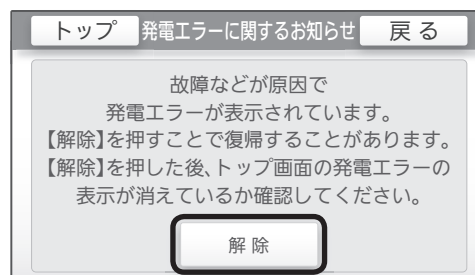
②【お知らせ】をタッチする



2 ①【発電エラーに関するお知らせ】をタッチし



②【解除】をタッチする



》しくみ

- この方法で発電エラーが解除される場合があります。

3 発電エラーの表示が消えない場合は、 発電ユニットの取扱説明書で表示の内容と処置方法をご覧ください

アフターサービスについて

- リモコンに関するサービスおよび保証は発電ユニットに準じます。発電ユニットの取扱説明書・保証書は、内容をご確認の上、大切に保管してください。
- この取扱説明書の「故障・異常かな?と思ったら」と発電ユニットの取扱説明書を調べていただき、なお異常のあるときは、東邦ガスにご連絡ください。

